

# 長村組ワークショップ

## 高校生が築堤工事見学

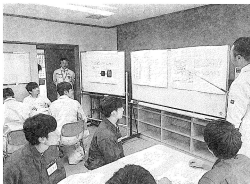
### 担い手育成へ魅力発信

長村組 北中孝孝代表  
取締役社長／中京区西ノ  
京中保町64は9月17日、  
高校生に築堤工事の現場  
を見学してもらうワーク  
ショップを福知山市大  
江町の同社作業所などで  
開催した。兵庫県立豊岡  
総合高等学校環境建設工  
学科2年生13人、国立舞  
鶴工業高等専門学校建設  
システム工学科2年生4人  
、両校の引率教諭4人の  
計19人が参加。ICT

建機を活用した情報化技  
術を用いた堤防の築堤工  
事を肌で感じ、現場のプ  
ロから様々なことを学べ  
る絶好の機会となった。  
生徒が見学したのは、  
近畿地方整備局福知山河  
川国道事務所が発注し  
、同社が施工する「阿良  
須地区引谷川築堤工事」  
（工事概要）河川土工・  
低水護岸工各一式、築堤  
3万4400m<sup>2</sup>の現場。  
ワークショップは同社が

2021年6月に迎える  
創立100周年記念事業  
の一環で、将来の担い手  
になる若者に業界や自社  
の魅力を発信し、今後の  
進学や就職に生かしても  
らおうと企画した。同様  
の催しは今回で2回目に  
なる。

午後1時、金屋ふれあ  
いセンター（大江町金屋）  
でオリエンテーションが  
行われ、集まった生徒を  
前に北中社長は「今、世



高校生 15 人が参加



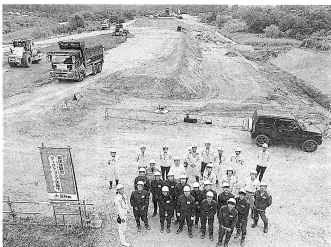
ドローンによる測量体験



築堤工事現場を見学



ICT建機を体験



ドローンによる記念撮影

に少しでも魅力を感じて  
もらえたなら幸いです」  
と述べた。

間で進められている働き  
方改革の要となる生産  
性向上の取り組みとして  
我々建設業界ではICT  
建機を活用している。見  
学してもらう現場でも活  
用しているので、実際に  
見学・体験し、興味を持っ  
てもらえることを期待し  
ている」と挨拶。藤原貴  
亮土木部課長が築堤工事  
の役割や工程、施工管理  
などについて説明した。

この後、同社阿良須地  
区作業所（大江町北有路）  
へ移動。ドローンを使っ  
た測量や3次元設計デー  
タの作成などを体験し、  
ICT建機を活用した施  
工管理などを学んだ。

閉会にあたって本園廣  
美土木部長は「今回は、  
堤防のない地域の家屋や  
農作物を早期に守るた  
め、従来の連続堤よりも  
迅速な整備が可能な輪中  
堤の工事現場を見学して  
もらった。建設業の担い  
手確保は重要な課題。こ  
ういった現場を見てもら  
うことで、若いみなさん